

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 石井太郎
論文審査委員	主査 古村南夫 印
	副査 稲井哲一朗 印
	副査 橋本修一 印
論文題目	TRPV2 channel inhibitors attenuate fibroblast differentiation and contraction mediated by keratinocyte-derived TGF- β 1 in an in vitro wound healing model of rats
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>皮膚の創傷治癒では、TGF-β1によって線維芽細胞が筋線維芽細胞へ分化し瘢痕収縮が起こる。本研究の三次元培養皮膚を用いた創傷治癒モデルにおいて、ケラチノサイトの重層化後にTGF-β1が放出され収縮が起こること、および線維芽細胞とケラチノサイトに発現されたTRPV2チャンネルが収縮機転に関与することが明らかにされた。さらにTRPV2阻害薬が収縮を抑制することも確認され、TRPV2チャンネルをターゲットとした薬理的介入により瘢痕収縮を予防できる可能性が示唆された。</p> <p>本研究の成果は、口唇口蓋裂の外科治療後の瘢痕収縮予防薬開発への端緒ともなり得ることから、学位論文として適格であり、公開発表会の質疑に対する適切な回答が得られたため、予備審査を合格と判定した。</p> <p>予備審査の公開発表会（平成30年3月23日13:00-13:55）において、論文内容の発表後、主査、副査との質疑応答を行い適切に問答した。さらに質疑に対する詳しい回答書を予備審査委員会で審査した。論文が受理済であること（Journal of Dermatological Science, 平成30年3月1日）、学位審査基準の総合評価が合格であること、内容が学位論文に相応しいと評価されたことから、本申請が学位審査基準に達していることを確認した。</p> <p>以上より、本論文を博士（歯学）の学位論文として適格で価値のあるものと評価し、合格と判定した。</p>	